



三宮 十五郎 議員

巡回福祉バスの 早急な運行改善を



巡回福祉バス

質 三宮議員

巡回福祉バスの運行改善について

(1) 巡回福祉バスの4月・5月の一日平均の利用者は、大藤・栄南校区が99人、十四山地区が6人で、人口比の利用率は14倍の差が出ています。

また、大藤・栄南学区は、以前に比べ利用率が11〜19%増加していますが、バスの本数が1日7回から4回に減らされたAコース(弥

生・白鳥学区)は20〜40%も減っています。

大藤・栄南学区で利用者が増えている要因は、停留所が32カ所(十四山地区13カ所)と多く、午前中に市役所や海南病院に行つて帰つてこれるなど、住民の生活リズムや要望に合ったものとなつていことが考えられます。

こうした極端な不平等・不公正を解消し、合併後の新市の一体化を促進する立場からも早急に改善していただませんか。

(2) 市民の日常生活の足となる巡回福祉バスと自転車・徒歩を組み合わせ、市と市民の共同の努力を進めるまちづくりの課題として、海抜ゼロメートル地帯にふさわしい省エネ・地球温暖化防止対策を検討していただませんか。

増車を含めて検討して頂く

答 横井総務部長

(1) 合併後の巡回福祉バスの時刻表は、平成17年3月に廃止された三重交通バスの利用者と十四山地区の住民の利用を目的に改正したもので、前回と同様に3両編成・5コースの運行で実施しています。

今後は、利用状況を参考に、全コースの運行ルート・停留所・乗継ぎ等を考慮しながら、増車を含めて検討していきます。

(2) 地球温暖化防止対策として、次回のバス更新時に、経済効率を考慮した省エネバスの導入等も視野に入れ、住民の意見を聞きながら研究していきます。

公共施設利用の改善を

質 三宮議員

子ども・高齢者・障害者

の公共施設の利用は原則無料となっておりますが、団塊の世代が退職する時代を迎える中で、生活の質を向上させ健康を守るために、一層の改善ができませんか。

多目的ホールは空いていれば無料

答 横井総務部長

子どもを対象にした活動は、申請により活動状況を確認した上で、社会教育団体として登録し免除しますが、申請のない団体は活動状況が確認できませんので免除できません。

単位福寿会は免除団体に加えていますが、高齢者と障害者については、市が活動を支援している公共的な団体を減免対象にしており、自主的なサークル等まで減免の拡大はできません。

なお、福祉センターの多目的ホールは、各種団体が利用していない時間帯であれば、高齢者は無料で使用できます。